

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

パーパス

「技術」のチカラで、あなたをしあわせに。卓越した技術と匠の技で社会が求める新たな価値を創造し、持続可能な社会インフラ構築に貢献する。

売上高
21,500百万円営業利益
400百万円経常利益
250百万円当期純利益
200百万円

② 中長期の経営戦略

1. 産業システム事業の成長

セキュリティ事業で防衛・公共・鉄道・プラント市場を最注力領域に。検査装置事業で医療市場のシェア拡大と自動化ニーズに対応。

3. メディカル事業の拡大

内視鏡・顕微鏡用カメラの新規OEM顧客獲得と新規事業領域への参入。海外はヨーロッパ・中国に続き北米やインド太平洋地域での活動を強化。

2. 放送システム事業の安定化

IP対応製品開発強化と次世代4Kカメラシステムの販売促進により、更新需要を確実に取り込み、海外市場でのシェア拡大を目指す。

4. コア技術の深耕と外部連携

既存技術の進化と外部リソース活用・アライアンス、M&Aも視野に事業領域の拡大を推進。

③ 対処すべき課題

① 中国市場への対応

- ・ 中国経済の停滞継続と医療業界の反腐敗運動への対応が必要
- ・ 官公立病院の入札状況は回復傾向だが、米国との関税動向が懸念
- ・ 現地医療機器メーカーとの商談継続と関係構築を推進

② 事業環境の変化への対応

- ・ 4K・8Kシステムの需要増加や高精細化ニーズへの技術革新対応
- ・ セキュリティ需要とIP技術による高度なソリューション提案が急務
- ・ 検査工程自動化要求への製品開発加速

③ 地政学リスクとサプライチェーン

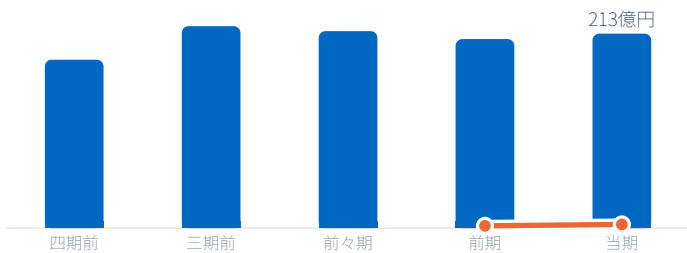
- ・ 物価上昇による個人消費への影響に対する経営基盤強化
- ・ 米国の通商政策や金融市場変動への継続的な注視が必要
- ・ サプライチェーン多様化による地政学的リスク対応

面接で使えるポイント

- ・ パーパス「『技術』のチカラで、あなたをしあわせに。」の実現に向け、卓越した技術で社会インフラに貢献する企業として展開。
- ・ 防衛・公共・鉄道・プラント市場を最注力領域とし、セキュリティソリューション事業で売上規模拡大を推進中。
- ・ 4K・8Kシステムや内視鏡カメラなど、次世代技術への投資と北米・インド太平洋地域での市場開拓で2026年度売上21,500…

証券コード 6771

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
池上通信機株式会社の事業概要

...

主力事業・セグメント

- ・電気機器（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・平均勤続21.3年と定着率が高い

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
213億円営業利益率
1.9%財務健康度
31点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 48.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
666万円

電気機器内 144位/225社

平均年齢
46.7歳

電気機器内 29位/225社

平均勤続
21.3年

電気機器内 13位/225社

女性管理職
7.3%

電気機器内 54位/182社

男性育休
100.0%

電気機器内 24位/171社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は...）

直近ニュース十一言

参考: 池上通信機(株)【6771】：決算情報

